

中山間地域直接支払交付金が 56集落に交付されました

農業は、単に食料を供給するだけでなく、国土保全や水資源のかん養、人々にやすらぎの場を提供するなど、多くの多面的機能があります。中山間地域等は、傾斜地が多いなど農業生産条件が不利な地域であることから、耕作放棄地が増加し、その機能の低下が懸念されています。

中山間地域等直接支払交付事業は、その対策のため実施されているものです。

この事業は、関係者が一致協力して取り組むものであり、交付金を受けるには集落協定を締結することになります。平成17年度は56の集落協定が認定され、集落の代表者に交付されました。

この交付金は、協定で定める内容により使用できますが、水路、農道の管理、多面的機能を増進する活動（周辺林地の下草刈等）の共同取り組み活動を実施することになります。

●問い合わせ先

本庁農林課 52-1111

(内線202・203)

各総合支所経済課

山方57-6811 美和58-3851

緒川56-3993 御前山55-2114

【対象地域】

農振地域内で1ヘクタール以上の、1団地以上の農用地

【対象農用地及び10アール当たりの交付金】

区分	基準	交付金
田	急傾斜 勾配が1/20以上	21,000円
	緩傾斜 勾配が1/100以上	8,000円
	小区画不整形 小区画不整形	8,000円
畑	急傾斜 勾配が15°以上	11,500円
	緩傾斜 勾配が8°以上	3,500円

※集落協定の内容によっては交付金額の8割が交付金となります。

認定した集落協定の概要

協定集落数	農業者数	交付農地面積	交付金額
56集落	837人	1,948,643㎡	16,367,595円

FIRE DEPARTMENT HITACHIOMIYA
消防本部（隊） 常陸大宮

第18回

夏！熱中症に注意

熱中症事故予防

熱中症は重症度により『熱けいれん』『熱疲労』『熱射病』の3つに分類されます。

軽度の熱中症は比較的良好に発生し、これは運動や作業を中止させて風通しのよい涼しい場所で身体を安静にさせ、水やジュースなどを与えるだけで回復することが多いです。

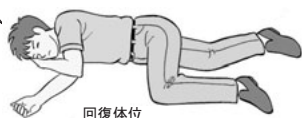
ところが重症の熱中症（熱射病）は、40℃～41℃以上の高体温と虚脱症状（けいれん、浅い呼吸、頻脈、意識消失等）を突然示す体の熱調整機構の障害で大変危険な状態です。これは、高温多湿の日や暑い場所での作業などで起こりやすく、睡眠不足や疲労度も影響します。

熱中症の応急手当

- 1 高温多湿の場所から涼しい風通しの良い場所に運ぶ。
 - 2 着衣をゆるめる。
 - 3 冷たい水で濡らしたタオルや布を当てて全身を冷やしながら、衣類などで扇いで風を送る。
 - 4 意識がはっきりしていれば水を飲ませ塩を舐めさせる。
(水分補給には0.1～0.2%程度の食塩と5%程度の糖分を含んだものが適当)
意識がはっきりしていない場合は水分を与えない。
 - 5 意識が無くなれば**回復体位**をとらせ気道を確保し、呼吸が停止した場合は人工呼吸を行う。
- 注：必ず医師の治療を受けましょう。

回復体位のとり方

下あごを前に出し、両肘を曲げ上側の膝を約90度に曲げて、傷病者が後ろに倒れないようにする。



回復体位

山火事防止看板設置

常陸大宮市東消防署では、盛金地内の山林入口や山頂に「山火事防止」の看板を設置しました。

看板は職員が廃材を利用し製作したもので、山菜採りやハイカーたちに山火事防止を呼びかけるものです。



**FDH
119**

